

[35_2] 図書館情報 : 九州大学附属図書館報 :
35(2)

<https://doi.org/10.15017/10674>

出版情報 : 図書館情報. 35 (2), pp.15-32, 1999-09-30. 九州大学附属図書館
バージョン :
権利関係 :

九州大学附属図書館報

図書館情報

The Kyushu University Library Bulletin

Vol. 35, No. 2 (1999)

目 次

EBMR (Evidence Based Medicine Review) データベースの利用	15
『讀本コレクションデータベース』を公開.....	18
個人用閲覧機を設置.....	19
平成11年度新CAT/ILLシステム説明会(九州・沖縄地区)を開催 = 新目録システムの多言語対応 =	20
レファレンス・ツール活用ガイド(Ⅰ)	21
平成10年度CDサーバ(OVID, NSCDNet)利用統計.....	24
Web of Scienceの利用状況について	26
学部(学科)図書室トピックス・.....	27
平成10年度九州大学附属図書館入館者統計.....	28
休日開館における図書館利用状況(平成10年度).....	29
所蔵資料の博物館等への展示出品.....	29
自著紹介.....	31
本学関係者著作寄贈図書.....	32

EBMR (Evidence Based Medicine Review) データベースの利用

花田 英輔

EBM (Evidenced Based Medicine) の背景

患者とその家族に対する医療情報の開示が社会的要求となっている。既に臓器移植のような高度先進医療技術を要する治療では、患者とその家族に対して医師が症状と治療方針を説明し同意を得る「インフォームドコンセント (Informed Consent)」を行わなければ治療が開始できない。これまで医師が治療方針を選択する場合、医師個人や医局の先輩の経験、

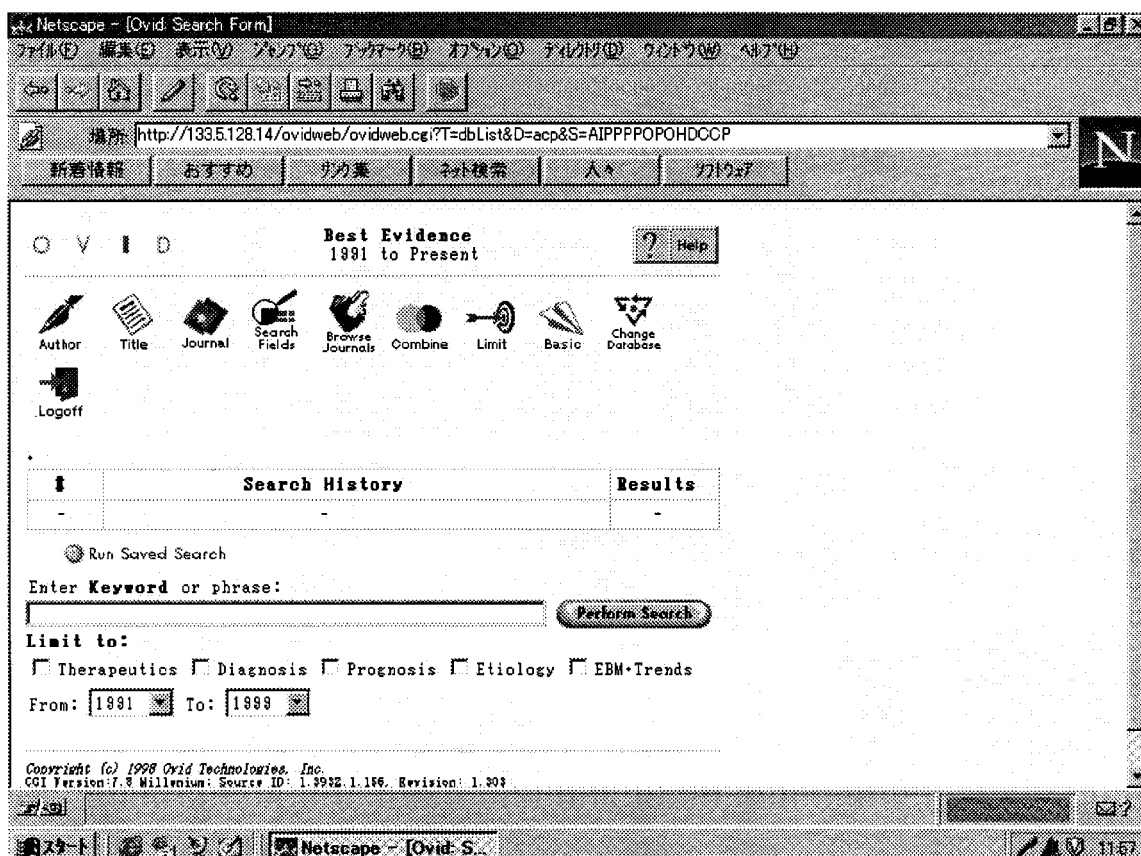
著名な医師が関与した症例報告、医学書をよりどころとしてきた。しかし、その選択が常に正しいと言えるには症例数が少ない上に、長期的視野での検証も数少なかった。昨今の世界の趨勢を見るに、今後の医療では疾病毎の情報を集約し「科学的根拠」に基づく治療方針を選択することが必要となる。この「科学的根拠」に基づいて行う医療を Evidence Based Medicine と呼び、近年注目を浴びている。

EBMR (Evidence Based Medicine Reviews)

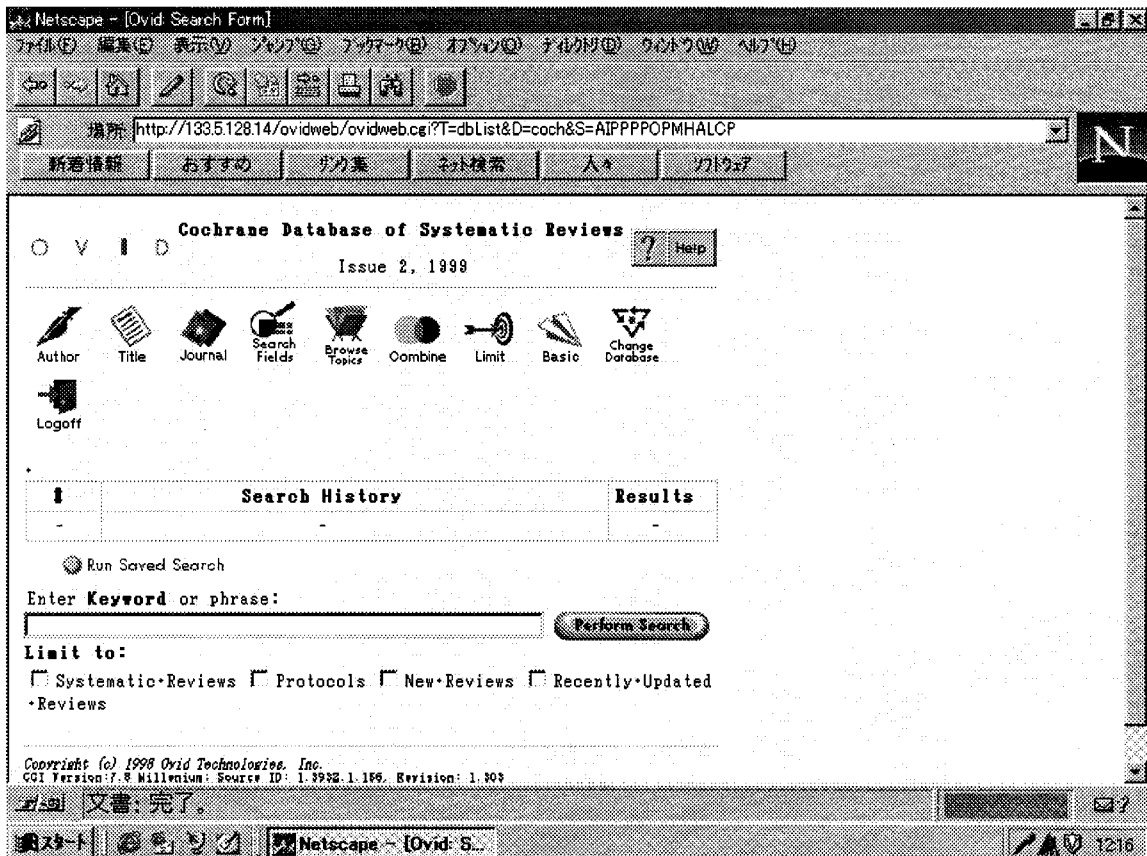
医療における「科学的根拠」は、予め設定した医学的課題に関わる文献を可能な限り収集して比較検討・解析して初めて得られる。1992年以降、欧州を中心としたNPOであるThe Cochrane Collaboration (コクラン共同計画)が世界中の症例を検討し、「科学的根拠」となり得るかを調査・決定してレビュー論文(The Cochrane Systematic Review)を発行している。このレビュー論文および専門家コメント等をWebブラウザを利用して容易にキーワード検索できるようにしたのがEvidence Based Medicine Reviews (EBMR)である。EBMRは単独検索のみならず以前から利用されてきたMEDLINE(医学文献書誌情報オンライン検索システム)と連動しており、MEDLINEでのキーワード検索時にEBMレビュー

論文を検索対象とするようチェックするだけで検索可能であり、検索結果画面をクリックするだけで論文全文が読める。例えば、気管支喘息発作患者へのaminophilineの使用について考えてみる。ほんの5~6年前までaminophilineは発作を押さえると信じられ、現在でも発作を押さえる目的で使用されていることがあるが、aminophilineは、発作の予防効果は認めるが発作自体を押さえる効果への有意性はないことが報告されており、発作時には吸入治療とsteroid投与が主流となりつつある[1]。このような報告がオンラインで容易かつ瞬時に検索できる。

このように、世界的規模と長期的視野で医療を見直すに連れて、これまで常識のように考えられていた治療も覆される例が出てきている。この点でも、EBMRは今後の医療の重要な位置を占める。



Best Evidence の検索画面



CDSR (Cochrane Database of Systematic Reviews) の検索画面

EBMR の利用

医学部附属病院では図書館医学分館と共同で株式会社サコの協力により EBMR を附属図書館本館のサーバで試験運用している。運用開始から約半年経過し、ある程度定着したと考えられるが、利用状況は150回程度 / 月である。現状では対象項目が少なく期待されるすべての情報を得られるとはいえないが、今日のインターネットの普及を考えれば、医療も他の

分野に漏れず世界的規模での標準化へ向かうことは間違いない。

参考文献

- [1] Adjunctive aminophylline for acute asthma may reduce unscheduled hospitalization. ACP Journal Club. Vol .115 : 83 ,Nov-Dec ,1991 .

(はなだ えいすけ

医学部附属病院 医療情報部助手)

* 編集部注 : EBMR データベースのトライアルは、OVID CD サーバを利用して8月末までの予定でしたが12月末まで延長されています。なお、EBMR データベースの利用は附属図書館ホームページ (<http://www.lib.kyushu-u.ac.jp/index-j.html>) にアクセスした後、検索・閲覧を選んで OVID データベースの Current Contents をクリック、またはホームページの Topics & News の EBMR トライアルをクリックしてください。

『讀本コレクションデータベース』を公開

これは、平成10年度研究開発室事業の一つとして開発されたもので、江戸時代の宝永年間から嘉永年間にかけて刊行された讀本227部（756冊）の画像データベースです。

これらの作品群は平成7年度大型コレクションとして購入したもので、極初期の談義もの、教訓、奇談の類を主として全体に目配り良く収集されており、江戸讀本の源流を確かめるのに大変有用なコレクションとなっています。

本データベースでは、全作品を年代順に配列し、それぞれの題簽、見返し、序文、跋文、目録、初巻

の初丁、刊記、奥付などの書誌情報源の画像を見ることができるようになっています。

中でも比較的珍しい八つの作品については、表紙を含む本文の全丁の画像と詳細な書誌解題も併せて見られるようにしています。

本データベース作成については、平成10年度附属図書館研究開発室員の中野三敏(元)文学部教授(現九州大学名誉教授)の指導の下に、文学研究科の大学院生の方々に多くの協力を頂きました。

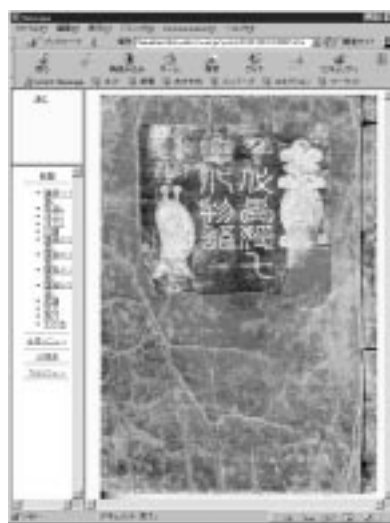
(図書館ホームページ：

<http://www.lib.kyushu-u.ac.jp/index-j.html>)

データベースのトップページ



表紙と題簽



本文挿し絵



書誌解題



個人用閲覧機を設置

中央図書館では、閲覧環境整備の一環として個人用閲覧機20台を新たに設置しました。この個人用閲覧機は、従来の平面的な閲覧機と違い、前面と側面が高くなっており、個室に近い、一人で落ち着いて学習できる環境になっています。照明、電源及び情報コンセントがそれぞれ備え付けられており、利用者個人のノートパソコンを持ち込み、インターネット利用をはじめ自由に使用できるようになっています。

設置以降の利用状況は大変好評で、毎日開館して最初に座席が埋まり、開館中はほとんど満席の状態です。一方、一人が独占使用し、他の利用者の使用を妨げるという弊害もでてきております。

今後、更に閲覧環境を整備していく必要がありますが、現状においては、閲覧機を有効に使用するため、学習時間以外は座席を空ける等、利用者のご協力をお願いします。



参考図書閲覧室



新館雑誌閲覧室

*なお、情報コンセント(インターネット)は、DHCPサーバ経由となっていますので、使用の際は、パソコンに若干の設定が必要です。詳しくは、中央図書館情報サービス課閲覧掛までお問い合わせください。

TEL : 092 - 642 - 2333 (ダイヤルイン)

E-mail : circl@lib.kyushu-u.ac.jp

平成11年度新 CAT/ILL システム説明会 (九州・沖縄地区)を開催

= 新目録システムの多言語対応 =

平成11年7月6日(火)、附属図書館視聴覚ホールにおいて、上記説明会が開催された。この説明会は、学術情報センター主催で、平成8年度から毎年実施されており、「新CAT/ILLシステム」への移行を円滑におこなうことを目的としている。

今回は平成12年1月に公開が予定されている新目録システムの多言語対応に関する説明が中心であった。多言語対応を実現するために、UCSというコード化文字セットに対応したシステムに変更し、現在の総合目録データベースの全てのデータをUCSに変換する。これにより、ラテン文字、ギリシャ文字、キリル文字、日本語漢字、ハングルなどの入力が可能となる。平成10年12月には「中国語資料の取り扱い(案)」が発表され、平成12年1月には、中

国語対応クライアントの公開及びCHINA-MARC(中国MARC)を参照ファイルとして導入することが予定されている。

また、平成14年を目標に、「韓国語資料の取り扱い(案)」の発表及びKOR-MARC(韓国MARC)の導入も計画されている。なお、多言語対応に関しては学術情報センターから冊子体「NACSIS-CAT目録システムの多言語対応」が発行されており、これは、URL:<http://www.cat.op.nacsis.ac.jp/INFO/newcat/tagengo.pdf>にも掲載されている。「中国語資料の取り扱い(案)」については、オンライン・ニュースレター No.65 及びURL:<http://www.cat.op.nacsis.ac.jp/INFO/chi/an/>に掲載されている。

UCS

UCS(国際符号化文字集合: Universal multiple-octet coded Character Set)とは、日本語、中国語などの漢字圏を含めた世界的に共通なコード体系の文字セットです。1993年に国際規格ISO/IEC10646-1として制定され、1995年1月にJIS X0221として日本の規格に採用されました。

現在定義されているのは、基本多言語面(BMP:

Basic Multilingual Plane)と呼ばれる部分の約3万6千文字です(この部分は、Unicodeと呼ばれる文字セットと同一です)。そのうちCJK統合漢字といわれる中国語、日本語、韓国語で使われる漢字を標準化した部分では、20,902字の漢字が定義されています。(「NACSIS-CAT目録システムの多言語対応」p.6より転載)

レファレンス・ツール活用ガイド(Ⅰ)

(<http://www.lib.kyushu-u.ac.jp/ref/ref/guide.html>)

情報サービス課参考調査掛

(1) 所蔵を調べる

図書館にはさまざまなレファレンス・ツールがあります。

レファレンス・ツールを使って、文献情報やその他の事物に関する情報を調べてみましょう。

あなたの読みたい文献は図書館にあるでしょうか？

まず九州大学内にあるか調べましょう。もし見つからなくても、他の大学から借りたり複写を取り寄せたりすることもできます。〔相互利用サービス〕

九州大学の所蔵を調べる

九州大学の所蔵をさがすためには、OPAC とカード目録の両方を検索してください。

利用方法は、九州大学附属図書館のホームページの利用案内をご覧ください。

(<http://www.lib.kyushu-u.ac.jp/> 利用案内 - 中央館 - 学内所蔵検索)

九州大学で所蔵していない資料をさがす

九州大学で所蔵していない資料でも、相互利用サービスで入手することができます。

以下の所蔵検索ツールを使って、九州大学以外の機関の所蔵を調べてみましょう。

所 蔵 機 関	図 書	雑 誌
国 内	NACSIS Webcat 総合目録データベース(学術情報センター)	
	大学図書館等	学術雑誌総合目録
	国書総目録	
	Union Catalog of Foreign Books.(新収洋書総合目録)	
	国会図書館	国立国会図書館蔵書目録 最近1年間に整理した和図書
JICST		JICST 資料所蔵目録
国 外	British Library	British Library OPAC 97

国内の所蔵をさがす

《NACSIS Webcat 総合目録データベース(学術情報センター)》

全国の主に国立大学等約650機関が所蔵する図書・雑誌の総合目録データベースを、Web上で検索でき

るシステムです。学術情報センター（NACSIS）がサービスしている目録システム（NACSIS-CAT）を通じて、参加機関によって共同作成されています。

ただし、参加機関によっては登録されていない古い蔵書もありますので、適宜冊子体の所蔵目録等も検索してください。[相互利用サービス]を利用するためには、NCIDを控えておきましょう。

【インターネット】<http://webcat.nacsis.ac.jp/>

[図書]

《国書総目録》

1876（慶応3）年までに日本人によって執筆・編集・翻訳された和漢書約50万点を書名の五十音順に配列し、その読み、巻数、著編者、成立年代、写刊の別、活字本の有無、所蔵館等を掲載しています。

読みのわからないものを調べる際には「国書読み方辞典」が便利です。

【冊子体】中央館2F参考図書室

《Union Catalog of Foreign Books . 新収洋書総合目録》

1954年から大学図書館15館、国立国会図書館、同支部図書館および公共図書館3館が毎年収集整理した洋書（1940年以降発行分、雑誌は除く）の目録カードを収集したものの。

追録版「新収洋書総合目録1954 - 1970追補」もあります。

【冊子体】1954 - 1983 / 中央館2F参考図書室

《国立国会図書館蔵書目録》

[和書] 帝国図書館和漢図書書名目録

[和書] 国立国会図書館蔵書目録

[洋書] 国立国会図書館蔵書目録 . 洋書編

[会議録] 科学技術関係欧文会議録目録

他

国立国会図書館の蔵書目録。さがす資料の種類や発行年に応じて使い分けましょう。

【冊子体】中央館2F参考図書室

《国立国会図書館：最近1年間に整理した和図書》

「国立国会図書館法」に基づき納本等により収集された和図書の書誌情報。最近1年間に整理されたもの（約10万件）を、1ヶ月更新で掲載しています。

【インターネット】<http://www.wopac.ndl.go.jp/cgi-bin/tsgate/TGWstart/TGWstart?version=0100/>

[雑誌]

《学術雑誌総合目録》

全国の主に国立大学等約650機関が所蔵する雑誌の総合目録。

「和文編」と「欧文編」に分かれています。

インターネットの Web サイト (<http://webcat.nacsis.ac.jp/>) ではこの雑誌の情報とあわせて図書の情報も調べることができます。

【冊子体】中央館 2 F 参考図書室

《国立国会図書館所蔵・国内逐次刊行物目録 / 外国逐次刊行物目録》

国立国会図書館が所蔵している逐次刊行物の目録。相互利用サービスでコピーを依頼することができますので、申込の際は掲載されている書架番号を確認しておきましょう。

【冊子体】国内：1989年末現在・外国：1998年末現在 / 中央館 2 F 参考図書室

《JICST資料所蔵目録》

日本科学技術情報センターの所蔵目録です。コピーを申し込むことができますので、掲載されている資料番号を確認しましょう。([相互利用サービス])

【冊子体】 逐次刊行物編：1997 .

会議資料編・公共資料編：1992 (1997年版は発行されていません)

/ 中央館 2 F 参考図書室

【CD-ROM】 1997 (逐次刊行物・会議資料・公共資料ともに収録されています)

会議開催地・年月日等、さまざまな検索キーを使えます。

/ 中央館 2 F 参考図書室

国外の所蔵をさがす

《British Library : OPAC97》

英国図書館の資料検索。附属図書館中央館相互利用掛では国外はここのみ文献複写取り寄せを依頼できます ([相互利用サービス])。書架番号を必ず確認してください (申込書に典拠として明記する必要があります)。

【インターネット】<http://opac97.bl.uk/>

学外へ文献のコピーを依頼する際のお願い

所蔵機関を確認した情報源 (典拠) を明示して、相互利用掛 (問合092 - 642 - 2334) までお申し込みください。

九州大学で所蔵している文献のコピーを依頼することはできません。必ず九州大学の所蔵がないことを確認してから依頼するようにしましょう。

学外の所蔵機関の検索方法がわからない場合は、レファレンス・デスク、参考調査掛 (092 - 642 - 2338 / 2336) までご相談ください。調査のお手伝いをします。

このガイドは、中央図書館の所蔵しているツール・利用規則を前提に記述しています。他の図書館・室によって利用の際、多少異なる点もありますのでご注意ください。

(次回は論文記事の調査ツールの紹介です。)

平成10年度 CDサーバ利用統計(1998年4月～1999年3月)

A . OVID Net 2 データベース統計 (中央図書館サーバ) —— 利用者登録が必要です。

部 局	Current C	ERIC	MEDLINE	PsycLIT	合 計
図書館	6,476	218	2,858	196	9,748
文学部	73	29	182	284	568
教育学部	2	277	14	486	779
法学部	16	4	40	0	60
経済学部	0	0	1	0	1
理学部	4,487	2	2,046	0	6,535
医学部	3,058	44	74,556	4	77,662
歯学部	846	3	7,233	0	8,082
薬学部	2,198	1	11,637	1	13,837
工学部	9,671	9	1,176	5	10,861
農学部	7,987	10	5,829	0	13,826
大学教育センター	834	5	134	0	973
生体防御医学研究所	393	0	4,175	0	4,568
応用力学研究所	142	0	0	0	142
健康科学センター	3	32	250	4	289
人間環境学研究科	0	23	0	230	253
システム情報科学研究科	95	2	8	1	106
比較社会文化研究科	162	0	217	0	379
総合理工学研究科	1,752	0	6	0	1,758
機能物質科学研究所	635	0	8	0	643
医療技術短期大学	2	7	75	0	84
部 局 等 計	38,832	666	110,445	1,211	151,154

* 利用実績がない部局は統計に載せていません。

* 提供データベース内訳

- ・ Current C : Current Contents. All Editions (主要雑誌の最新目次情報、抄録付き)
毎週更新、収録分野 (1) Agriculture & Biology (2) Arts & Humanities (3) Clinical Medicine (4) Engineering & Technology (5) Life Sciences (6) Physics & Chemistry (7) Social & Behavioral Sciences
- ・ ERIC (教育学分野データベース、抄録を含む) 毎月更新、1966～
- ・ MEDLINE (医学生物学分野データベース、抄録を含む) 毎月更新、1966～
- ・ PsycLIT (心理学分野データベース、抄録を含む) 年4回更新、1887～

B. NSCD Net データベース統計 (医学分館サーバ) —— 学内 LAN から利用できます。

部 局	CACD	医中誌	JCR	雑索	合 計
図書館	716	466	117	926	2,225
文学部	2	1	0	79	82
教育学部	12	42	4	387	445
法学部	2	19	16	515	552
経済学部	0	0	0	7	7
理学部	192	69	58	32	351
工学部	298	50	58	121	527
有機化学基礎研究センター	18	1	2	2	23
システム情報科学研究科	14	7	13	13	47
農学部	41	26	111	93	271
医学部	854	15,571	742	1,624	18,791
歯学部	28	100	62	13	203
薬学部	100	76	34	19	229
比較社会文化研究科	63	112	18	428	621
総合理工学研究科	152	24	8	27	211
大型計算機センター	16	23	8	10	57
健康科学センター	3	73	4	2	82
医療技術短期大学	8	103	17	34	162
生体防御医学研究所	2	85	34	10	131
応用力学研究所	1	3	17	1	22
機能物質科学研究所	104	4	34	19	161
事務局	1	1	7	1	10
その他	17	3	4	19	43
部 局 等 計	2,644	16,859	1,368	4,382	25,253

* 利用実績がない部局は統計に載せていません。

* 提供データベース内訳

- ・ CACD : Chemical Abstracts 12 13th Collective Index .1987 ~ 1996 (化学分野データベース、抄録付き)
- ・ 医中誌 : 医学中央雑誌 1987 ~
- ・ JCR : Journal Citation Reports .1997 (インパクトファクター・データ)
- ・ 雑索 : 雑誌記事索引 1975 ~

Web of Science の利用状況について

平成11年1月より試験公開を始めた「Web of Science : SCI Expanded」は、1～3月の試験運用を経て4月から本格運用しています。

8月までの利用状況は夏休み期間中に若干の減少はあるものの、自然系の学部を中心に多くの運用がなされているようです。

Web of Science 利用状況（平成11年1月～8月）

	1月	2月	3月	計	4月	5月	6月	7月	8月	計	合計
中央図書館	68	54	116	238	1,693	2,785	2,498	2,850	988	10,814	11,052
医学分館			12	12	242	249	318	391	335	1,535	1,547
六本松分館				0	66	41	30	16	20	173	173
大型センター	45	2	2	49	161	318	383	192	168	1,222	1,271
文学部				0		1	1		1	3	3
教育学部				0	3	1	18	9	4	35	35
法学部				0	1	5	27	11	1	45	45
経済学部				0			7		81	88	88
理学部			142	142	3,229	4,008	3,935	3,025	2,097	16,294	16,436
数理学研究科				0	10		50	15	63	138	138
システム情報			1	1	106	428	422	231	144	1,331	1,332
工学部	3	1	113	117	2,215	4,290	4,659	3,289	2,544	16,997	17,114
農学部			125	125	1,679	2,271	2,660	2,080	1,224	9,914	10,039
医学部		5	230	235	795	1,175	725	1,047	2,140	5,882	6,117
歯学部			1	1	83	201	442	255	292	1,273	1,274
薬学部			55	55	499	537	553	709	564	2,862	2,917
医療短大				0				3		3	3
生医研			90	90	907	921	410	551	315	3,104	3,194
健康センター				0	167	73	114	71	2	427	427
応力研				0	2	62	316	35	43	458	458
総理工			100	100	821	1,035	1,250	703	985	4,794	4,894
春日地区管理				0	2	43	31	46	1	123	123
機能研	1	2	28	31	645	894	729	1,340	700	4,308	4,339
六本松地区			52	52	718	1,602	1,648	1,132	731	5,831	5,883
その他	1	1	0	2	229	362	313	345	267	1,516	1,518
合計	118	65	1,067	1,250	14,273	21,302	21,539	18,346	13,710	89,170	90,420

学部(学科)図書室トピックス シリーズ

旧応用理学図書室より

岡本 順子

旧応用理学教室図書室は工学部の学科図書室として、事務局前の工学部本館の3階にあり非常に眺めのいい場所に位置しています。現在の場所に昭和40年頃移ったと聞いていますが、なにしろ戦前から存在していた学科で、貴重な図書をたくさん所蔵しています。

原簿を紐解いてみますと残念ながら戦災で焼失したものもあり、時代の変遷を経てこの図書室が存在しているのが想像されます。

元来この図書室は、数学、物理、化学の分野で占められ、書庫も現在3ヶ所に分散し、単行本に関しては数学以外の分野の資料は各研究室で保管しております。それらの資料も当図書室で所蔵管理を行っておりますので利用される際はお問い合わせください。

図書室職員は1名で管理・運営し、利用者の立場を考慮しながら、組織の充実・改善及び向上を目指したいと考えています。

また1990年前後からのコンピュータの導入により、仕事の様相もずいぶんと変わり、それにつれてサービスの形態等も変化し、大量の情報をいかに効率よく処理し、利用できるかが問われるようになりました。学内LANを利用した所蔵検索(OPAC)や学術情報センターが提供する、全国の大学所蔵の図書・雑誌目録(Webcat)、またCurrent Contents等の文献データベースをCD-ROMサーバで提供するOVIDなど、さまざまな方法により、必要な情報をパソコン一台で即座に入手できるようになったことは画期的なことだと思います。

またあらゆる情報がインターネット上で行き交い、必要な情報を瞬時に入手できることは便利なことだと思う反面、文献検索から現物入手までの過程が全て電子化されることにより、プリントとしての今までの形態(書物)が、どのように取り扱われ、また今後の図書館のあり方がどのように変わっていくのか興味深いところです。

今年の4月に大学院の重点化が終了し、数理科学研究科(工学部分室)、エネルギー量子工学専攻(応理)、航空宇宙工学専攻(応理)等の組織の図書室となりましたが、利用においては今までとそんなに変わらないサービスが出来ると思います。

そして各図書館関係の方々には、お互いの貴重な情報の交換をすることにより、業務の向上を図りたいと思っていますのでよろしく願いいたします。

(おかもと じゅんこ エネルギー量子工学専攻〔応用理学〕)

平成10年度九州大学附属図書館入館者統計

部 局	(人)		(人)		(人)		(人)	
	中央図書館	%	医学分館	%	六本松分館	%	合 計	%
文学部	19,186	6.21	64	0.04	13,035	7.24	32,285	5.04
教育学部	5,619	1.82	127	0.08	5,639	3.13	11,385	1.78
人間環境学研	1,322	0.43	0	0.00	0	0.00	1,322	0.21
法学部	45,831	14.85	14	0.01	20,538	11.40	66,383	10.36
経済学部	19,994	6.48	78	0.05	14,429	8.01	34,501	5.39
理学部	61,378	19.88	981	0.65	24,820	13.78	87,179	13.61
数理学研究科	6,651	2.15	0	0.00	830	0.46	7,481	1.17
工学部	64,892	21.02	621	0.41	51,602	28.66	117,115	18.28
システム情報	3,703	1.20	0	0.00	0	0.00	3,703	0.58
農学部	58,832	19.06	1,534	1.01	20,455	11.36	80,821	12.62
医学部	1,419	0.46	77,594	51.10	6,271	3.48	85,284	13.31
医学部附属病院	20	0.01	12,535	8.26	0	0.00	12,555	1.96
歯・歯学部病院	240	0.08	13,351	8.79	5,655	3.14	19,246	3.00
医療短大	365	0.12	22,648	14.92	88	0.05	23,101	3.61
薬学部	453	0.15	10,577	6.97	3,538	1.96	14,568	2.27
生医研	12	0.00	1,141	0.75	0	0.00	1,153	0.18
比文研	2,499	0.81	35	0.02	9,894	5.49	12,428	1.94
言語文化部	111	0.04	18	0.01	732	0.41	861	0.13
大学教育研究センター	91	0.03	1	0.00	322	0.18	414	0.06
総合理工学研究科	1,846	0.60	35	0.02	27	0.01	1,908	0.30
応用力学研究所	45	0.01	0	0.00	1	0.00	46	0.01
機能研	104	0.03	1	0.00	1	0.00	106	0.02
健康科学センター	8	0.00	49	0.03	27	0.01	84	0.01
石炭研究資料センター	27	0.01	0	0.00	13	0.01	40	0.01
大型計算機センター	23	0.01	0	0.00	0	0.00	23	0.00
情報処理教育センター	1	0.00	0	0.00	0	0.00	1	0.00
ベンチャービジネスラボラトリー	10	0.00	0	0.00	0	0.00	10	0.00
図書館(注)	251	0.08	8,393	5.53	1,779	0.99	10,423	1.63
事務局	129	0.04	1	0.00	5	0.00	135	0.02
学務部	1,030	0.33	11	0.01	26	0.01	1,067	0.17
放送大学	617	0.20	0	0.00	25	0.01	642	0.10
その他(他大学)	1,859	0.60	904	0.60	239	0.13	3,002	0.47
その他(一般市民)	10,140	3.28	1,130	0.74	89	0.05	11,359	1.77
合 計	308,708	100	151,843	100	180,080	100	640,631	100

(注) 利用者票不携帯学内利用者及び仮カード利用者等

休日開館における図書館利用状況（平成10年度）

開館日	中央図書館		六本松分館		医学分館	
	土・日・祝日		土・日のみ（祝日は除く）		土・日・祝日	
	入館者数	開館日数	入館者数	開館日数	入館者数	開館日数
4月	2,266人	7日	429人	4日	783人	9日
5月	4,062人	11日	870人	9日	1,119人	12日
6月	3,014人	8日	1,000人	8日	1,023人	8日
7月	3,163人	9日	1,104人	8日	945人	9日
8月					675人	6日
9月	5,465人	8日	3,831人	8日	2,883人	10日
10月	2,305人	9日	668人	8日	1,412人	9日
11月	3,093人	12日	585人	7日	1,366人	8日
12月	2,564人	9日	610人	6日	1,134人	8日
1月	3,160人	9日	1,534人	6日	1,682人	9日
2月	5,601人	9日	2,971人	8日	2,717人	9日
3月	1,656人	9日	198人	4日	853人	9日
合計	36,348人	100日	13,800人	76日	16,592人	106日
1日平均	363人		182人		157人	

所蔵資料の博物館等への展示出品

展 示 名：平成11年度特別展
 「湯浴み ～湯の歴史と文化～」
 場 所：大分県立歴史博物館
 期 日：平成11年10月8日(金)～11月7日(日)
 出展資料：旅行用心集　　1冊
 豊国紀行　　1冊

人事異動

(平成11年6月～平成11年8月)

(総合理工学研究科等)

- 6.30 鬼田 亜紀 (教務課図書掛)(事務補佐員)辞職
- 7.1 富田 仁子 教務課図書掛(事務補佐員)(庶務課から)

図書館日誌

(平成11年6月～平成11年8月)

- 6.3 レファレンス・ケース DB 構築検討ワーキング・グループ会議(琉球大学)
- 7 学術情報センター目録システム地域講習会(9日まで)
- 10 学術情報センター ILL システム地域講習会(11日まで)
- 18 事務一元化(理学部等・農学部図書掛)第1回打合会(中央図書館)
- 23 第46回国立大学図書館協議会総会(24日まで)(仙台国際センター)
- 25 外国雑誌センター館会議(東京工業大学)
- 29 第4回ラテン語古刊本書誌作成研修会(中央図書館)
- 30 図書館情報システム検討ワーキング・グループ総括WG(中央図書館)
- 30 全学図書系掛長会議(中央図書館)
- 7.1 図書館周辺草刈り・清掃(中央図書館)
- 6 新CAT/ILL システム説明会(学術情報センター主催)
- 12 平成11年度大学図書館職員長期研修(国立オリンピック記念青少年総合センター)(30日まで)
- 14 科研費法制史文献・画像データベース作成委員会打合会(中央図書館)
- 14 平成11年度第2回館長会議(医学分館)
- 24 九州地区国立大学附属図書館ソフトボール大会(大分大学)
- 27 図書館情報編集委員会(中央図書館)
- 30 平成11年度第3回館長会議
- 30 第170回附属図書館商議委員会
- 30 将来構想に関する検討委員会
- 8.2 九州地区大学図書館協議会編集委員館会議(中央図書館)
- 6 事務一元化(理学部等・農学部図書掛)第2回打合会(中央図書館)
- 17 附属図書館自己点検・評価委員会ワーキング・グループ(中央図書館)

----- 記事の訂正 -----

Vol 35 No.1 p.11下から22行目の池尻順子は江尻順子の間違いでした。お詫びして訂正いたします。

自 著 紹 介

竹村則行（文学部教授）

『長生殿箋注』

[中央図書館 922 / C 54]

『長生殿』は清初の洪昇撰。有名な楊貴妃の故事を50幕の長編に仕組んだ崑劇の名作である。その書名は白居易「長恨歌」の一節「七月七日長生殿」に由来する。孔尚任の『桃花扇』と並び、清代を代表する戯曲の双璧の一。従来呉梅、徐朔方、曾永義、塩谷温の各氏の注釈本に、この箋注本が新たに『長生殿』研究の参考書として加わった。

この『長生殿箋注』は、主に楊貴妃故事の出拠説明に力を注ぐ。近年の索引や辞書等の工具書を駆使して、原著者が使用した楊貴妃故事のかなりの部分が解明された(むろん今後に残した課題も数多いが)。

共著者の康保成氏は、九大と学术交流協定を結ぶ中国中山大学教授。94年から3年間、九大外人教師として学生の指導に当たる傍ら、竹村と共同して30万字に上る原稿の作成とパソコン入力に当った。

この本は、その意味でも日中学術交流史上の誇りに足る学術成果の一に数えられる。全文中国文。

長吉眞一（経済学部助教授）

『財務諸表監査の論理』

[中央図書館 336 97 / N 25 / A]

本書は、最近のリスク・アプローチによる監査手法に基づいて、財務諸表監査の理論と制度を詳説したものである。リスク・アプローチとは、限られた監査資源（監査時間や監査人の数等）を有効に活用するために、監査リスクが高い（低い）と考えられる監査領域には監査資源を大量（少量）に投入しようとする考え方であり、SAS（アメリカ公認会計士協会・監査基準書）第47号によって構造的にまとめ

られたものである。

本書は、随所にSAS各号の考え方を織り込み、それに大きな影響を受けた我が国の監査基準について、企業会計審議会や日本公認会計士協会・監査基準委員会の報告書をもとに、監査人・監査計画・内部統制・監査意見の審査等を考察した。

監査手続についても、寄贈者の経験をもとに3章を割いて具体的に説明している。経営者による不正の問題についてはその発生経緯と分析の手続を考察し、今後の課題について論及した。

長吉眞一（経済学部助教授）

『会社簿記テキスト』

[中央図書館 336 91 / N 25]

本書は、公表財務諸表を作成するために一般企業で行われている簿記について平易に解説した入門書である。本書の特徴は次のとおりである。

①同一会社の同一決算期の三種類の財務諸表（株主総会招集通知の添付資料、公告、有価証券報告書の経理の部）という実際の事例を取り入れて制度会計の概要を説明すると同時に、それらの作成方法を記載して相互の比較ができるようにしたこと。

②従来の多くの簿記書には実務から乖離した説明がみられたが、寄贈者の経験をもとに実務とも矛盾しない説明に重点を置いたこと。これによって、学生が会計実践について相当程度理解することができ、経理実務に従事した場合に実務とテキストとの乖離のために混乱することがなくなると予想される。

③各章を内容で区切ると同時に、1回の授業で扱える分量にしたこと。これによって、1回の授業時間内で説明を打ち切ったり、練習問題を省いたりすることがなくなる。



本学関係者著作寄贈図書

蔵書の充実を図るため、図書館では著作物刊行の節は一部ご寄贈くださるようお願いしております。今回は次の教官からご寄贈いただきました。厚く御礼申し上げます。

〔中央図書館〕

竹村則行（文学部教授）

「長生殿箋注」

洪昇原著、竹村則行、康保成箋注

中州古籍出版社 1999

[中央図書館 922 / C 54]

有村隆広（言語文化部教授）

「カフカと二十世紀ドイツ文学」

有村隆広編

同学社 1999

[中央図書館 940 247 / Ka 15]

長吉眞一（経済学部助教授）

「財務諸表監査の論理」

長吉眞一著

中央経済社 1996

[中央図書館 336.97 / N 25 / A]

井上尚英（医学部教授）

「中毒学概論：毒の科学」

Anthony T. Tu 著、井上尚英監修

薬業時報社 1999

[中央図書館 499.15 / Tu 1]

長吉眞一（経済学部助教授）

「会社簿記テキスト」

長吉眞一、崎章浩、森久著

中央経済社 1994

[中央図書館 336.91 / N 25]

井上尚英（医学部教授）

「科学英語語源小辞典」

前田滋、井上尚英編

松柏社 1999

[中央図書館 403.3 / Ma 26]

九州大学附属図書館ホームページをご利用ください。資料検索等ができます。

URL : <http://www.lib.kyushu-u.ac.jp/index-j.html>

図書館が提供している検索サービス：OPAC（学内蔵書検索）、Webcat（国内大学図書館等の蔵書検索）、OVID CD サーバ（MEDLINE その他のデータベース検索）、NSCDNet CD サーバ（雑誌記事索引その他のデータベース検索）、Web of Science：SCI Expanded（引用索引データベース検索）

なお、OVID を利用する場合はユーザ登録が必要です。